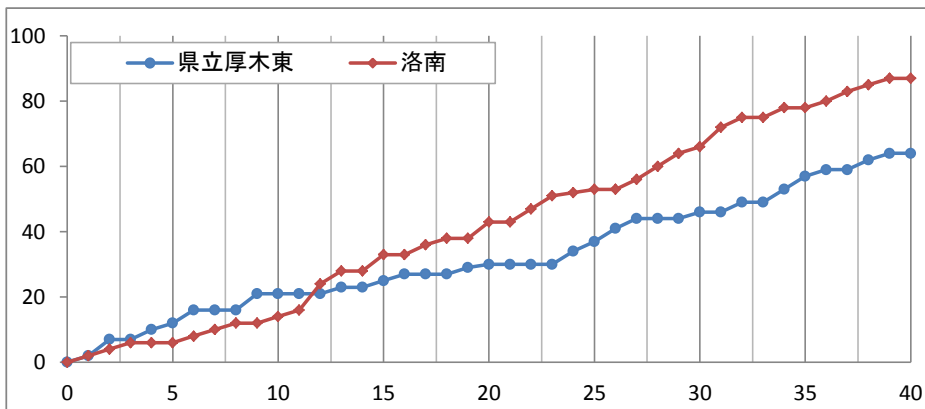


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 3回戦 **県立厚木東 64** (神奈川) ● **87 洛南** ○ (京都)

主審 伊藤 恒
副審 佐藤 匠

No. 31c2 日時: 2013年7月31日(水) 11:40 会場: 別府アリーナ



県立厚木東

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 横山 和彦 (C)	9	3	0	0	2
5	鈴木 康明	0	0	0	0	2
6	高砂 秀星	0	0	0	0	0
7	* 河野 賢人	16	1	6	1	4
8	* 小久保 克俊	4	0	2	0	1
9	手嶋 上総	0	0	0	0	0
10	* 中野 翔吾	21	0	10	1	3
11	引間 雄也	3	1	0	0	5
12	白石 祥輝	-	-	-	-	-
13	細澤 将太	4	0	2	0	0
14	* 望月 大地	4	0	2	0	2
15	富樫 颯人	3	0	1	1	1
コーチ	永田 雅嗣郎					
合計		64	5	23	3	20

洛南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 森井 健太 (C)	24	2	6	6	1
5	小林 千真	3	0	1	1	1
6	* 渡部 裕地	10	0	5	0	3
7	中島 海渡	3	0	1	1	1
8	* 村井 大陸	6	0	2	2	2
9	菅 祐史	0	0	0	0	0
10	* 澤田 絢以	7	0	3	1	2
11	* 岡田 卓也	2	0	1	0	0
12	富田 頼	20	0	9	2	1
13	下田 忠至	3	0	1	1	1
14	竹村 蓮	9	1	2	2	3
15	鈴木 悠介	0	0	0	0	0
コーチ	吉田 裕司					
合計		87	3	31	16	15

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

県立厚木東はオールコート、洛南はハーフコートのマンツーマンでゲームスタート。序盤、県立厚木東は固いDefからの速攻で、着実に加点していく。残り4分には県立厚木東#7の3Pや#14、#8の1on1からの得点でリードを8点とする。そこで洛南は前半1回目のタイムアウトを取る。その後、洛南はオールコートゾーンプレスから一時2点差まで詰め寄るが、県立厚木東#4の3Pや#10のジャンプシュートで突き放し、結局21-14で県立厚木東が7点リードで第1ピリオド終了。第2ピリオド、洛南は#4や#14のスティールからの速攻で一気に逆転に成功する。その後も洛南はオールコート3-2ゾーンプレスで県立厚木東にプレッシャーをかけ続け、5分52秒には洛南が7点をリードする。そこで県立厚木東は前半1回目のタイムアウトを取る。その後、県立厚木東は1-3-1ゾーンからマンツーマンに、洛南はマンツーマンから3-2ゾーンにするなど、互いにDefを目まぐるしく変える。一進一退の攻防が続くが、洛南#14のブザービーターによる3Pもあり43-30で洛南が13点リードして前半を終了。

後半、洛南は#4の3Pや速攻からの得点でリードを広げていく。一方、県立厚木東は洛南の固いDefに阻まれ開始3分経過して、#15のジャンプシュートによる2点のみ。その後、県立厚木東も激しいDefから#4の3Pや#10のジャンプシュートなどで追い上げるが、洛南は#4の3P、#5や#12のインサイドプレーなどで応酬する。第3ピリオドは66-46で洛南がリードを広げて終了。第4ピリオドになっても洛南の堅守は変わらず、県立厚木東はなかなか突破口を見いだせない。県立厚木東も気迫のこもったマンツーマンDefで粘りを見せるが、洛南は冷静にパスを回して、加点していく。県立厚木東も#4の3P、#10や#14のジャンプシュート、#7のレイアップなど最後までゴールに対して執着を見せるが、最後まで冷静に対処した洛南が87-64で勝利して、準々決勝に進出した。

記者 岡 明弘 (所属) 大分県バスケットボール協会